



発行者 滋賀県PTA連絡協議会
 滋賀県PTA安全会
 会長 和田 光生
 広報委員会
 委員長 中村 千恵堂
 印刷 竹田 騰 写



滋賀県PTA大会

平成23年11月12日 長浜市浅井文化ホール

地域と学校と

会長 和田 光生

PTAは、アルファベツトで書かれる通り、戦後占領下で誕生したアメリカ生まれの組織です。日本の民主化を進める改革のひとつとして普及がはかられ、急速に定着しました。その歴史は、滋賀県で61年目、還暦を越えたところです。しかし、アメリカ生まれのPTAがそのまま日本に定着したわけではありません。また見方にもありますが、それ以前からPTAという名乗りはなくても、地域と学校と保護者が連携する形はあったといえます。

でもそも明治5年

大会宣言決議

- 私たちは、家庭、学校、地域社会との「絆」をより一層深めるための核となり、みんなで子育てできるPTA活動を推進します。
- 私たちは、虐待やいじめの防止に努めるとともに、自他の生命や人権を大切にするPTA活動を推進します。
- 私たちは、保護者同士の連携を密にし、子育ての情報交換を活発にする中で親育ちするためのPTA活動を推進します。
- 私たちは、PTA会員としての自己研鑽に努め、子どもたちを取り巻く環境の変化に対応できるPTA活動を推進します。
- 私たちは、豊かな自然に恵まれた郷土を愛する心を培うPTA活動を推進します。

(1872)に学制が公布されて誕生した学校は、すべて、地域ので建物を通じて、先生を雇い、維持管理にかかわりながら、子どもたちに学びの場を提供してきました。新たな時代に生きる力をも身に付けさせる場を、政府でなく、地域が作り上げたのです。新時代を生きるためには教育が必要だと感じていた大人たちが、未来を託す子どもたちに授けた「場」が学校だったのです。もちろん、その後の教育は政府が主導し、紆余曲折の歩みを刻んできたこ



他人の子を叱るのも大人の思いやり

記念講演

俳優 八名信夫氏

今年度は映画の悪役で長年活躍してこられた八名信夫さんの講演です。その一部を紹介します。

とは確かです。国レベルでなく地域目線で考えると、子どもたちが健全に育つことを願う、保護者や地域の思いを受け止める場であり続けたことにかわりありま



「悪役を30年もやっていてそのうち悪役の経験を講演で話すことも出てきました。その機会を利用して講演を聴いている人たちにいつもお願いをしてきました。『知らない子も叱る』昔はみんなそうでした。しかし、今はだめ。特に東京はそういう雰囲気がない。自由になってしまった。恐いおじさん、おばさんがいなくなっちゃった。学校の先生も叱れない。子どもは楽な方に流れます。「叱るときは叱る」このことが大切なんです。悪いことをしたら「1週間トイレを手で掃除しろ！」それでいいんです。これは暴力ではない。

女子中学生のディスカッションの場に参加して「援助交際ってどう思う？」ってきいたら笑いの渦が起きました。罪悪感も全く感じられない。思わず、「援助交際は言い換えたら売春だぞ、売春は犯罪だ！」と言いました。そしたら雰囲気が変わってシーンとなりました。言葉にオブラートをかける必要はないんです。正しい行いや言葉を教えてやらなければならぬ。その思いです。

4、5歳の子どもたちが裸で20人くらい映っている写真です。手に握っている物は草の根。「この子たちは生きるためにこの草の根を食べるんです、奪い合うんです。こんな子どもたちが世界中に350万人もいるんです。」と涙を流しながら話していました。

そんな時他の番組では、馬鹿なタレントが大食い競争をやりました。口いっぱいラーメンをほおばり、こぼしながら食べていた。こんなことやっていたらいずれ日本はだめになる。こんな番組撮っちゃいけない。子どもに見せてはいけません。許せないですよ。大食いだとかセックスだとくだらないテレビ番組、いい加減な子どもが育ちます。

子どもに関心を持って声をかけたい。この前もお年寄りが立っているのに優先座席に大学生が何人かグループで座っている。声をかけても替わる様子が見えなかった。「おい、席替われ！お年寄りが立っている。優先座席に大学生が座ってどうするんだ、替わらないんらお前ら、塩かけて焼いて食ってやるぞ！」って怒鳴ったら替わっていききました。注意してやらなければわからないんです。」

と熱く語られました。大人みんなが繋がって子どもを育てていきたいと強く感じた講演でした。

実践発表
「ヨシ行け どんどん作戦」

長浜市立びわ中学校は、JR長浜駅より西へ5キロメートル程の所にあり、自然豊かな湖北の地の、ちょうど真ん中あたりに位置します。

伊藤啓明会長は、「ヨシ行け どんどん作戦」が発足して10年目の、節目の年にPTA会長を担われ、今日に至るまでの活動の模様を、映像を通して話していただきました。

びわ中学校では10年前、琵琶湖を取り巻く環境の中で、ヨシと魚が減ってきていることに、多くの保護者が危惧の念を持ちました。そして、「これからの子どもたちに自然の大切さを知ってほしい。琵琶湖に関心を持ってほしい。『びわ』と名のつく中学校として、琵琶湖のことを学んでほしい。」という願いでこの活動を創められたそうです。

「ヨシ行け どんどん作戦」という名称は、親が子にエールを送る思いで名付けられました。

「ヨシ」は水の流れを弱くして汚れを沈めたり、微生物を棲まわせることよって汚れを分解したり、水中の窒素やリンを吸収したり、フナなど魚の棲家になります。また、水の逆流

を防いだりします。お話を聞いていますと、「ヨシ」が琵琶湖の環境にいかにも多大な影響をもたらしているかが伺えます。

当初2年間は、先進地である島根県のヨシ苗作りを参考にされましたがうまくいかず、3年目に長めの苗ポットをやや沖合に植えたりし、4年目には直植えを試みて、ようやく、この直植えがこの環境に合うことがわかり、今年度までの活動につながりました。

また、この活動は親子フォーラムとしても開催され、地域を巻き込んだ大きな活動にもなり、びわ中学校創立60周年記念事業の一環では石碑も建てられました。

今年度、5月のヨシ苗作りから7月のポットあげ作業で、1000株ものヨシ苗が作られ、総勢500名もの方々の手によって、湖岸にヨシ苗が植えられ、今すぐすくすくと育っています。

母なる琵琶湖の環境を見直し、大切に、少しでも多くの人々が携わることで、この地から琵琶湖を守る取り組みが発信できたらと、熱い思いを語られました。



参会者からの声
 (アンケート結果)

講演を聴いて

- 今の日本このままではダメ。普段から、ひとの子を注意している自分に自信が持てた。
- 子育てだけでなく、今後の自分の人生において役に立つお話だった。
- 自由の中に責任があることを教えていかなければならない。
- 正しく導けるように、私たち大人が善悪の判断をしつかりと持ち、見本にならないといけない。
- 子どもにつまらん番組を見せるな。
- ひとに好かれようと生きて生きたら、見て見ぬふりをせず、注意すべきは注意できる人であれ。
- やれないじゃなく、やってみようの気持ちで大切にしてほしい。
- 何かをしようにとする人間を、何もしない奴が笑う。そんな奴ほっとけ!
- 他人の子も我が子同様に愛情を持って叱り接することが大切。

など、大切なことをたくさん学ぶことができました。今日の話を、自分だけのものにせず、「叱るのも大人の思いやり」の和を広げたいものですね。

大会の持ち方について

感想

- 県の役員をして初めて、多様な活動があることが分かった。県全体でPTA活動に取り組んでいることを実感した。
- 長浜小学校合唱団もびわ中学校PTAの実践発表もとてもよかったです。
- オープニングの合唱など不要と思っていたが、実際に聴くと感動した。心が洗われた。

意見

- 情報交換のための分科会の開催を考えてほしい。
- イメージしやすくするために実践発表校の位置や生徒数など紹介を詳しくしてほしい。
- 合唱団の発表が始まったら入場は禁止すべき。発表者に失礼だし、聴く者にとつては迷惑。

この他にも、いろいろと厳しいご意見もありました。今後の参考にさせていただきます。

ただ、毎回、セレモニーの時間が長いとの声をお聞きますが、本事業は、単に講演会、発表会ではなく、PTA大会ですので、PTA活動に功績のあった個人や団体の表彰並びに大会宣言の採択も大事な要素であることをご理解いただければ幸いに存じます。

地球の未来にできること。マングローブ「海の森」づくりは、その答えのひとつです。

東京海上日動は、1999年度からNGOをパートナーに、地球温暖化の抑制に役立つマングローブの植林をはじめました。それから10年、「海の森」は5,000haを超える面積にひろがりました。マングローブ「海の森」づくりは、東京海上日動が地球の未来にかけた保険。100年間植林を継続することを目指し、取り組んでまいります。

*「マングローブ植林行動計画」(財団法人オイスカ、(1999年度~)「国際マングローブ生態系協会」(2009年度~)

東京海上日動火災保険株式会社
 東京都千代田区丸の内1-2-1 〒100-8050
 ☎0120-868-100 午前9時~午後8時(平日、土日祝とも) <http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/>

AIU保険 CHARTIS

育てたいのは
 子どもたちの未来。

「高校生国際交流プログラム」協賛
 「いじめ防止標語コンテスト」開催
 「エコキャップ推進協会」への支援
 「がん健診企業アクション」への参加
 「新日本フィルハーモニックオーケストラ」協賛
 (ほか)

AIU保険会社 神戸支店
 〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-3-3
 問合せ: 078-360-2401 午前9時~午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)
 エイアイユー インシュアランス カンパニー

平成23年度

受賞に輝くかたがた

(敬称略)

◎日本PTA全国協議会会長表彰

〈団体の部〉
大津市立唐崎中学校 PTA

〈個人の部〉
森岡靖子 甲賀市
湯浅 敦 草津市
前田正則 近江八幡市



◎優良 PTA 文部科学大臣表彰

草津市立山田小学校 PTA
竜王町立竜王小学校 PTA

◎近畿ブロック PTA 協議会会長表彰

〈団体の部〉
近江八幡市 PTA 連合会
彦根市立若葉小学校 PTA

〈個人の部〉
橋本雅昭 栗東市 大藤由美子 高島市
北川昌美 日野町 八上紀子 長浜市
音羽穰司 大津市 安田康子 彦根市



◎滋賀県 PTA 連絡協議会会長表彰

〈団体の部〉
高島市立さくら幼稚園 PTA
草津市立老上小学校 PTA



〈個人の部〉
馬淵 泰 長浜市 山田美由喜 彦根市
前川甚士 高島市 辻 太喜男 近江八幡市
小林雅人 高島市

◎全国三行詩コンクール入賞 「佳作」

滋賀大学教育学部附属小学校
2年生 近藤 聡

「うちはゲームは買わへんで。」って
お父さんが言う。
そのかわり、いっしょに
しょうぎ してくれるよ。



▲薦田 浩刀さんの作品



▲嶋寺 祥さんの作品

早寝・早起き 朝ごはん

平成23年度「早寝早起き朝ごはん」 県民運動ポスター コンクール入賞者

< 滋賀県教育長賞 >

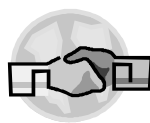
池澤風香 長浜市立神照小学校 6年生
平居穂華 東近江市立湖東中学校 3年生

< 滋賀県 PTA 連絡協議会会長賞 >

薦田浩刀 米原市立坂田小学校 3年生
嶋寺 祥 長浜市立浅井中学校 2年生

< 滋賀県青少年育成県民会議会長賞 >

里村旺輝 長浜市立虎姫小学校 1年生
平塚彩花 彦根市立南中学校 1年生



東日本大震災 募金活動継続中

★滋賀県PTA募金額 **9,836,929円**

震災募金通帳残額…1,211,234円 (平成24年2月15日現在)

★日本PTA募金総額 **247,485,906円**

配分済み額…210,000,000円(振込手数料 9,240円)

残 額… 37,476,666円 (平成23年10月20日現在)

【配分団体名】岩手県PTA連合会・宮城県PTA連合会・仙台市PTA協議会
福島県PTA連合会・青森県PTA連合会・茨城県PTA連絡協議会

長期的に取り組みを継続する必要がありますので、今後ともよろしくお願
いします。2月26日には、近畿ブロックPTA協議会の役員が、ボランティア
活動の一環として、JR京都駅周辺で募金活動を行い、多くの方々のご協力を
いただくことができました。

今後の振込先
従来通り

滋賀銀行 県庁支店 普通 497318
しがけんびーていーえーしんまいぼん かいちょう わだみつお
滋賀県PTA震災募金 会長 和田 光生

滋賀県PTA連絡協議会

園児・児童・生徒24時間総合保障制度からのお知らせ

本制度は滋賀県PTA連絡協議会加盟の国公立(一部私立を含む)の幼稚園・小学校・中学校に在籍されているお子様の保護者の方にご加入いただいております。この制度はお子様の不測の事故によるケガの通院や入院、過失による第三者への損害賠償(対人・対物)に備える制度です。

【新規加入手続き】

現在、未加入の方又は、今年幼稚園に入园、小学校・中学校に入学される方は、4月上旬に学校園にて配布していただく「加入依頼書」にご記入、ご捺印のうえ4月26日(木)までにご投函ください。

【自動更新】

現在ご加入いただき、今年卒園・卒業される方以外は、自動更新となります。中学校を卒業される方は、本制度が満期終了となりますので、ご加入いただけません。(特別支援学校除く)

【変更・継続停止・脱退】

補償プランの変更、住所、引落口座等に変更ある方は、各学校園より配布される「加入依頼書」に必要事項をご記入・ご捺印のうえ、送付ください。都合により脱退される方や、また県外転出の場合はご加入いただけませんので、4月26日(木)までに下記問い合わせ先へ連絡のうえ更新停止手続きをお願いいたします。

お申込み・お問合せ

滋賀県PTA連絡協議会
『園児・児童・生徒24時間総合保障制度』事務局

フリーダイヤル

☎0120-577-415

受付時間9:30~17:00(土・日・祝日を除く)

http://www.jungle.or.jp/shigaken-pta/





骨盤体操でモデルに变身!?

光星学園ひかり幼稚園PTA

「骨盤の歪み、何とかしたいヨネ。」そんな声が届いたのか、今年のPTA研修は、津野洋子先生による骨盤体操が行われました。興味はあるけどなかなかできないという忙しいママの心を掴み、大勢の参加がありました。津野先生の穏やかな人柄から発せられるかけ声で、会場は一瞬にして魔法がかりました。1、2

と声がかかると、皆のお尻がキュッとしまり、姿勢が良くなり、笑顔がこぼれます。歩き方も教わり、モデルに大変身！育児に追われる毎日を、忘れる事ができる時間でした。まだまだ、だっこやおんぶが大好きな子ども達でも園庭を見ていると、だっこをしても、ママの立ち姿

は、モデルの様です！まだまだ、津野先生の魔法は効いています。是非、一度骨盤体操をお試しあれ。



親子で体験活動

守山市立玉津小学校PTA

11月8日(火)、5年生の親子体験学習会では子どもたちが田植えをして、刈り取った餅米を使って餅つきをしました。子どもたちは保護者といっしょに餅を丸めたり、お餅であんこを包んだり、お雑煮を作ったりと、楽しい時間を過ごしました。そして、保護者といっしょに試食会。いろいろな話に花が咲く有意義なひととき

でした。これは、PTA教養部の事業で、各学年の学級委員が計画、準備、運営をして実施しています。1、2、6年生は1学期、3、4年生は、2学期に実施しました。子どもたちが楽しみにしているもので、参加率が100%に近い、会員相互の親睦を深める機会にもなっています。活動内容も様々で、

ピロピロやドッチビー等の競技で汗を流したり、手打ちうどんに挑戦したりと、戦った学級委員と学級委員の対決が光ります。



親子ふれあいウォーク

湖南市立甲西中学校PTA

甲西中学校の伝統行事で、今年で21回目、10月下旬に実施しました。瀬田、土山、阿山(三重県)の3コースのうち今回は瀬田コースで、瀬田の唐橋から学校まで旧東海道約23kmを踏破しました。早朝6時に学校に集合し、バスで移動。7時20分から学年別に出発式を行い、順次スタート。早い子は12時頃にはゴールしますが、

最終は15時頃と長丁場です。この行事の目的は、子どもたちが最後までやり遂げる強靱な体力と精神力を培い、仲間同士の連帯を深めることと、PTAの連携の強化です。

道中の安全確保のため、危険箇所等64ポイントに160名余りの保護者の協力や生徒と一緒に歩いて下さる先生方など、PTA一丸となったビッグイベントとなりました。当日は、秋晴れに恵まれ、無事に終了しました。



大津ブロック震災から学ぶこと

大津ブロック

大津ブロック研修会を、10月4日、大津市生涯学習センターにて開催しました。「震災から学ぶこと」として、それぞれの目的で被災地を訪問した3名が、報告を行いました。

◆副会長 望月 敬之
期間 3月24日～28日

避難所の運営支援のため、福島市内にある「あづま総合運動公園体育館」に参りました。当時、約1,300人の方が避難しておられ、入退所から生活全般にかかわる相談、食事や物資等の配布、施設の警備などを24時間体制で行いました。また、深夜に何度も救急対応をすることもありました。

ボランティア活動もボランティアの人たちで運営されていて、特に感銘を受けたのは、地元の中高生たちが、自ら進んで積極的にボランティア活動を行っていたことでした。



◆副会長 目片信悟
期間 6月4日～7日
8月10日～13日

ボランティア活動のために入った宮城県東松島市で、大地震による津波の恐ろしさをまざまざと見せつけられました。作

業は、浸水した家屋へのドロ除去や、流された家具の搬出などが大半でしたが、人員の確保が大事だと感じました。ボランティアセンターもボランティアによる運営で、協力とやる気が重要です。自分の目で見えたものや被災者のお話などから、災害から自分の命を守る準備をすることや、困った時はお互いの気持ちで、自分のできることを行動に移すことが大切だと思えました。



◆副会長 町田弘法
期間 9月16日～19日

「被災地の幼い子どもたちにも楽しいあそびを。子どもたちの笑顔で大人たちも元気を取り戻してほしい」と、私たちがやっている「移動子どもミュージアム」を、山形市と仙台市で開催しました。

当日は大盛況で、多くの親子連れが楽しんでくれました。子どもたちの笑顔はどこでも同じで、元気をもらったような気がしました。みんな頑

張っているところを伝えよう、そして子どもたちが幸せになるように、「今できることを、やらないで」と、決意を新たに帰郷しました。



『くらしafety』ご3月の訪問を紹介!

平成23年4月13日放映分

http://www.bibinavi.jp/kurashi/kurashi20110413_256.wmv

*** PTA安全会より ***

PTA行事参加中に事故が起こったら…各単位PTAを通じて下記へご連絡ください。

AIU保険会社



取扱代理店 (株)アーケ・スリー・インターナショナル

〒520-0051 大津市梅林 1-15-30 林ビル 2階
TEL:(077)527-6823 FAX:(0120)527-606
(平日:9時30分～17時まで)

滋賀県PTAホームページ <http://www.jungle.or.jp/shigaken-pta/>

編集後記

今年度、県PTA大会での実践発表を間かせて頂き、大変感銘を受けました。最初の一步を踏み出すことの大切さ、続けることの大切さ、本心に素直らしいこと、地道な活動にこそ意義があると教えられました。